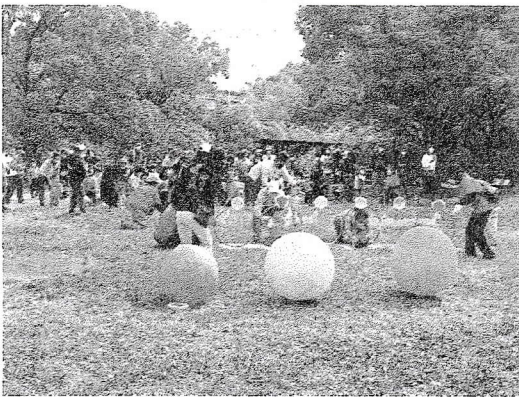


ようやく過ごしやすい日々がやってきました。

しかし朝晩の気温の差がとても大きいようです。このような時に風邪をひきやすいので、どうかお父さん、お母さん、そしてお子さんも十分お気をつけください。

先月は運動会を実施しました。 少しずつコロナ禍から元に戻ってきて上坂部西公園で走ったり、玉を投げたり、フラフープをくぐったりしました！



運動することによって、脳を活性化させるということは、もう科学的に証明されています。

BDNF という物質が神経の栄養となって神経を育てていくのだそうです。

その BDNF は運動の刺激で増えていくということなので、身体を動かすことが何よりも大切なことなのだということがわかります

つかまり立ちから少しずつ何も持たなくてもバランスをとって一歩、一歩歩けるようになる。それこそが身体を使って、自分でうまくバランスをとって、脳にいろいろな司令を出してできるようになっている一つの例です。

子どもはじっとしていません！ 脳にいっぱい信号を送って、手先を使うこと、ボールを投げたり、転がしたりすることを覚えていきます。できるようになると嬉しくて、何度も繰り返してします。そうして感覚をしっかり覚え、確実な動きにしているのです。

できるようになると楽しい。褒めてもらえる自身につながり・・・そして、もっと上手にできるように工夫をする。

こうして、子どもたちは育っていきます。

ということは、やはりメディアに子守りをさせてばかりは良くないという訳ですね・・・

やんちゃんこのスタッフが元気なのは、もしかしたら、みんなと一緒に遊ぶことが大好きだからかもしれません！

季節のよい時期お外にいっぱい行ってらっしゃい！！



特定非営利活動法人やんちゃんこ

代表理事 濱田 英世



今月の絵本

[11月の絵本]



おいも、どんぐり・秋にピッタリの絵本を紹介します。絵本で季節を楽しんでください。

スタッフ 中野まゆ美



さつまのおいも

文:中川ひろたか 絵:村上康成 出版社:童心社

おいもに土の中の暮らしがあるなんて…。日々頑張っているおいもが愛おしくなります。最後のオチもおもしろいです!



どんぐりころちゃん

作:みなみじゅんこ 出版社:アリス館

♪どんぐりころちゃん あたまはとんがって おしりはぺっちゃんこ どんぐりはちくりしょ♪ わらべ歌がカワイイ絵本になって登場。どんぐりたちがみんなかわいいです。最後に楽譜と振りがついているので歌って遊べます。



♪うえから、したから♪

15 うえから、したから



う え か ら、し た か ら、お お か ぜ こ い、こ い、こ い!

遊び方①

くりかえし歌いながら、体の前で布をふります。ときどき「ヒューツ」と布をとばしたり、放ったりします。

遊び方② うたのリズムにあわせて

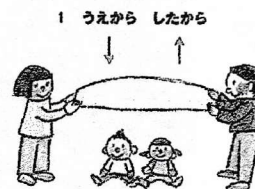
♪うえから ← 頭の上で手をふる 2回

♪したから ← ひざをたたく 2回

♪おおかぜ ← 頭の上で手をふる 2回

♪こい ← ひざをたたく 2回

♪こいこいこい ← 頭の上で手をふる 4回



【「いっしょにあそぼうわらべうた0.1.2歳児編」コダーイ芸術研究所/著 明治図書】

北風がふく季節となりました。布を風にみたてて、風になったつもりで一緒に楽しく遊んでください。家族で遊ぶときは、絵のように大きな布で遊んでも楽しいですよ。

保育士 服部茂子

教えて!薬剤師さん!



8回目 誤飲事故対策は?

「2018年度家庭用品等に係る健康被害 病院モニター報告」では、小児の誤飲事故で第1位「たばこ」、第2位「医薬品」、第3位「食品」となっています。保護者が注意していても、誤飲は起きてしまうことがあります。成長にあわせた対策が必要です。

①「身近にあるものを手に取り何でも口に運ぶ」

おおむね6か月から1歳半ころにかけて、身近にあるものを手に取り口に入れる行動による誤飲事故が多い。

②「周囲への興味や関心が高まり人の模倣をする」

1歳児（特に1歳半頃）から2歳児にかけては、周囲への興味・関心が高まる時期であり、保護者の模倣等により誤飲する。

③「興味を持って好んで手に取る」

おおむね2歳頃からの特徴として、手足や脳がより発達することによって、興味を持ったモノに対して、道具を使うなどして好んで手に取ることにより誤飲する。



医薬品については子供本人にも、たくさん飲んではいけないもの、塗り薬は体に塗るものとして説明しつつ、視界に入らない、踏み台を使っても手が届かない、子どもが開けられない場所などで保管し、誤飲事故を防ぎましょう。

薬剤師 中野洋子

oooooooooooooooooooo

スタッフの
ひとこと...



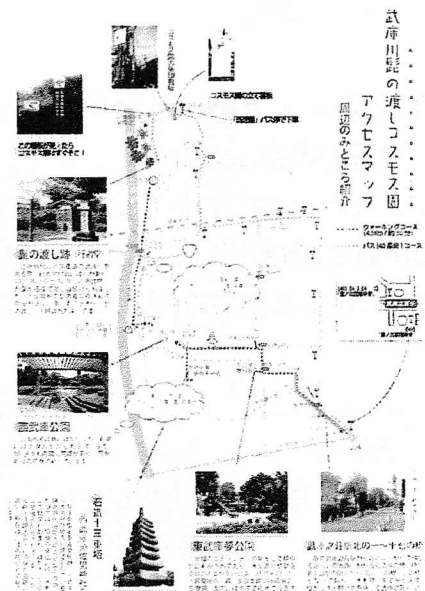
☆ 武庫川髭の渡コスモス園—尼崎市
で検索してみてください

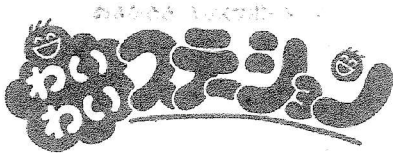
11月になりやっと涼しくなりましたね。

武庫川にコスモス畑があるのをご存じでしょうか?

『武庫川髭の渡コスモス園』といます。ぜひ一度足を運んでみてくださいね。

スタッフ 三宅邦子





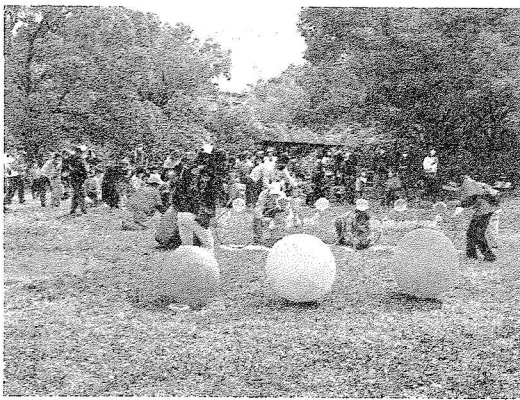
2023年 11月号

For you

ようやく過ごしやすい日々がやってきました。

しかし朝晩の気温の差がとても大きいようです。このような時に風邪をひきやすいので、どうかお父さん、お母さん、そしてお子さんも十分お気をつけください。

先月は運動会を実施しました。 少しずつコロナ禍から元に戻ってきて上坂部西公園で走ったり、玉を投げたり、フラフープをくぐったりしました！



運動することによって、脳を活性化させるということは、もう科学的に証明されています。

BDNF という物質が神経の栄養となって神経を育てていくのだそうです。

その BDNF は運動の刺激で増えていくということなので、身体を動かすことが何よりも大切なことなのだということがわかります

つかまり立ちから少しずつ何も持たなくてもバランスをとって一歩、一歩歩けるようになる。それこそが身体を使って、自分でうまくバランスをとって、脳にいろいろな司令を出してできるようになっている一つの例です。

子どもはじっとしていません！ 脳にいっぱい信号を送って、手先を使うこと、ボールを投げたり、転がしたりすることを覚えていきます。できるようになると嬉しくて、何度も繰り返してします。そうして感覚をしっかりと覚え、確実な動きにしているのです。

できるようになると楽しい。褒めてもらえる则自身につながり・・・そして、もっと上手にできるように工夫をする。

こうして、子どもたちは育っていきます。

ということは、やはりメディアに子守りをさせてばかりは良くないという訳ですよ・・・

やんちゃんこのスタッフが元気なのは、もしかしたら、みんなと一緒に遊ぶことが大好きだからかもしれません！

季節のよい時期お外にいっぱい行ってらっしゃい！！



特定非営利活動法人やんちゃんこ

代表理事 濱田 英世